

## 学校だより

2025年8月から10月までの

### 資格試験一覧

この期間に日専校生が取り組んだ  
資格・検定試験の一覧を記載する。

- 8月23日 2級電子機器組立学科
- (3電気科)
- 9月2日 2級電子機器組立実技
- 9月23日 QC検定4級
- (3電気科)
- 10月16日 リスニング検定  
(全生徒)  
(3年希望者)
- 10月20日 溶接JIS検定  
(2溶接科)



活発な意見交換

### トヨタ工業学園との定期交流会で活発な意見交換



トヨタ工業学園交流会

7月17日から18日、トヨタ工業学園  
私がトヨタ工業学園との交流会に  
3電気科 菅野 昇流

園との交流会を実施した。トヨタ自動車の学校。日立製作所の学校。日本を代表する企業内学校で、それぞれの強みを共有する交流会となつた。双方の更なる成長につながる機会作りを目的とし、職場で即戦力になるために何が必要かを考え、日常の取り組みにつなげることを目標とした。

3月のトヨタ工業学園での交流会から具体的に取り組んできた内容の共有と、振り返りを実施した。グループディスカッションでは、生徒会、寮役員、部活リーダーと3つの会議に分かれ活発な意見交換を行った。次につながる新たな目標を決め、日常生活での実践につなげていく。今後も定期的に交流会を重ねていき、日専校生としての「あるべき姿」に近づいていきたい。

H O I T E L Ara iとアミーチア

ドベンチャードベンチャーでは、ツリートレッキングのハーネス付け、アクティビティなどのように実践できたかを振り返り、成果や課題を確認する良い機会となりました。お互いに意見を出し合い、自分たちでは気付かない新しい視点を得ることができました。お互いの学校を更により良いものにするために、強みを成長させ、課題を強みに変えていくための取り組みを具体的に考え合うことができました。

度の交流会を経て、自分たちにはないトヨタ工業学園の強み、自分たちが持っている日専校の強みを再認識するとともに、お互いに新しい発見や、刺激を感じることができたことは大きな成果です。3年生にとって今回の交流会が最後となりましたが、新体制の2年生にしっかりと引き継ぎ、これから更に交流会が活発化していくことを期待しています。

### 3年生が就業体験

#### 異なる分野の仕事を経験

7月28日から8月6日にかけて3年生総勢24名の生徒が校外活動を行つた。長野県の軽井沢プリンスホテル、アミーチアドベンチャードベンチャードベンチヤード12名（男子8名、女子4名）、新潟県妙高市のLOTTE HOTEL Ari a iで男子12名が就業体験を実施した。軽井沢プリンスホテルでは、クローケの受付、お客様の送迎、荷物の受け取り・運搬など。LOTTE HOTEL Ara iとアミーチア

ドベンチャードベンチャーでは、ツリートレッキングのハーネス付け、アクティビティのサポート業務、トレッキング周辺の安全確認作業を体験した。

①常に笑顔で、相手の気持ちに寄り添うコミュニケーションを心がける  
②指示を待つのではなく、自ら進んで仕事を見つけ行動する勇気を持つ  
③お客様のちょっとした変化や困りごとに気づけるよう、日常から觀察力を養う  
④業務に必要な知識を積極的に習得し、自信をもつて行動できるようにする



ホテル、レジャー施設での就業体験



茨城県庁表敬訪問

茨城県庁に入賞報告  
第20回若年者ものづくり競技大会において、本校からは、旋盤職種に3年機械科の嶋田龍聖、フライス盤職

若年者ものづくり競技大会  
茨城県庁に入賞報告  
8月2日および4日に開催された第20回若年者ものづくり競技大会において、本校からは、旋盤職種に3年機械科の嶋田龍聖、フライス盤職

(9頁へ続く)

ミーチアドベンチャードベンチャーでは、安全確保はもちろんですが、すべてのお客様に楽しんでいたための思いやりある接客が徹底されており、とても印象に残りました。この経験を通して、今後は左記の点を意識して行動したいと考えています。  
①常に笑顔で、相手の気持ちに寄り添うコミュニケーションを心がける  
②指示を待つのではなく、自ら進んで仕事を見つけ行動する勇気を持つ  
③お客様のちょっとした変化や困りごとに気づけるよう、日常から觀察力を養う  
④業務に必要な知識を積極的に習得し、自信をもつて行動できるようにする

(8頁の続き)

種に同じく3年機械科の五月女大輝、メカトロニクス職種に3年電気科の金長真杜・木田将臣ペアの計4名が出場した。大会には、全国の職業能効力開発施設および工業高等学校に在籍する20歳以下の学生・訓練生358名が参加し、15職種にわたってポリテクセンター徳島・ポリテクセンター広島、あなぶきアリーナ香川、その他5会場にて技能を競いあつた。本校出場者のうち、五月女大輝がフライス盤職種で銅賞(第4位)、金長真杜・木田将臣ペアがメカトロニクス職種で敢闘賞(第4位)を受賞した。受賞者には8月27日に茨城県職業能力開発協会より表彰状およびメダルが届けられ、9月10日には産業戦略部長・次長への報告も行われた。出席者たちは、今後の技能五輪大会出場を目指してさらなる技術向上に努めており、今後の活躍が期待される。

**3年機械科 五月女 大輝**

今回の大会では、「銅賞」を受賞することができました。目標でした。目標としていた金メダルには届きませんでしたが、自分の持てる力をすべて出し切り、その結果が形となつたことを素直に嬉しく思っています。このような結果を残すことができたのは、日々ご指導くださった先生方をはじめ



3年機械科  
五月女  
大輝

## 今回の大会

**3年機械科 五月女 大輝** 今回の大会では、「銅賞」を受賞することができました。目標としては、金メダルには届きませんでし  
たが、自分の持てる力をすべて出し  
切り、その結果が形となつたこと  
を素直に嬉しく思っています。この  
ような結果を残すことができたのは、  
日々ご指導くださった先生方をはじ  
めており、今後の活躍が期待される。



3年電気科  
金

め、日工同窓会の皆様、そして応援、ご支援いたたいた多くの方々の支えがあつたからこそだと深く感じております。心より感謝申し上げます。今回の経験を今後の技能五輪へつなげ、次こそは金メダルを目指して、より一層努力してまいります。

きました。ご指導くださった先生方、そして温かい応援をくださった同窓会の皆様をはじめ、全ての方々に心より感謝申し上げます。大会では、「今まで自分と向き合うことができました。第2課題を提出できなかつた悔しさは残りますが、この経験から得た学びは計り知れません。この悔しさを胸に、次の「技



## 競技中の五月女さん(フライス盤職種)



3年電気科 木田 将臣

本当にありがとうございます。

「角玉転」<sup>カタタケン</sup>今回の戻答を以て、シカシ、さらに良い結果を目指します  
そして、この大会で得た経験を糧に、社会で活躍できる人財になれるよう、これからも日々精進してまいります  
本当にありがとうございました。  
（ヨウウガキ）

重ねてまいります。最後になりますが、これまでご指導くださった先生方が、日工同窓会の皆様、そして応援、ご支援いたいたいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。本当にあ



競技由の金長・木田ペア(メカトロ職種)



競技由の嶋田さん(旋盤職種)

が、結果は意外となり、悔いの残る結果となつてしましました。約2ヶ月間の訓練期間中には、納得のいく課題が組み立てられれば、思うように点数が付かず、悩む日も多くありました。一番でも自分の実力を十分に發揮できず、悔しさばかりが残る大会となってしまいました。しかし、この悔しさを糧に、次の目標である技能五輪



今大会では

今大会では

部活動リーダー研修会



部活動リーダー研修会

（部長・副部長・生活指導）が参加され、部活動リーダー研修会が行われた。グループ討議では「リーダーとは何か」「どんなリーダーになりたいのか」を話し合い、仲間の意見を尊重し組織を意識した行動が大切だと学んだ。今泉校長からは「チーム力を高めるために」と題して、協力の重要性の話があり、その後はスライドを

(9)  
貢の続き

用いて各部の活動目標、課題と克服方法、リーダーの自覚を整理・発表した。新体制で伝統を継承しつつ改善を重ね、より有意義な学校生活や部活動を築くことが期待される。

2年電気科 玉野輝晟

(考動アクション) 部活動委員長

この度、部活動委員長となりました玉野輝晟です。8月29日に部活動リーダー研修会に参加させていただきました。部活動リーダー研修会では各部のリーダー（部長、副部長、生活指導）が他部活のリーダーとグループになりリーダーの定義やボトルマップ理論などの様々な議題について話し合いました。研修会の後半には各部でスライドを作り、今後の目標、現状の課題、活動計画などについての発表を行いました。今回の研修を通して、各部の現状や目標、リーダーとしての立ち振舞について考える良い機会になりました。今後は今回の研修会を通して学んだことを活かして部活動をより良いものにできるよう日々精進していきたいと思います。

都市対抗野球応援

**6年ぶりに東京ドームへ**  
第96回都市対抗野球大会が8月28日から開幕し、日立製作所野球部の初戦は9月2日、福岡市代表の西部ガスと東京ドームの舞台で激闘を繰り広げた。



都市対抗野球全校応援(東京ドーム)

市対抗で日立製作所の一体感を目の当たりにし、良い経験ができた。来年こそは1つでも多く東京ドームで応援できるようこれからも日立製作所野球部を応援したい。

## 寮委員研修会を開催 2年生リーダーに引継ぎ

9月24日午後から寮食堂にて開催された本研修会には10月から始まる3年生の工場実習に伴い、現2年生の寮生から新たに選出された11名の新委員と18名の旧委員が参加した。研修会のプログラムは以下の通り。

- ①校長、寮管理グループ長挨拶
- ②新委員挨拶
- ③旧委員による活動実績報告
- ④新委員によるグループ討議（活動スローガン、および全員リーダー制における役割決定）
- ⑤各リーダーによる活動指針発表

新委員はグループ討議を通して、更に良い寮にするための活発な意見交換を行い、活動スローガンを「自慢できる寮（笑顔でつくる毎日）」と決定した。

各委員には、委員長を統括役とし、安全衛生、食事、女子生活など10種類のリーダー的役割が与えられ、各々が活動方針や具体的な活動内容を決め全員で共有できた。

今後、新委員を中心に全寮生が活動し、より良い寮を創りあげることを期待する。

## 寮委員研修会を開催

2年生リーダーに引継れ

- 9月24日午後から寮食堂にて開催された本研修会には10月から始まる3年生の工場実習に伴い、現2年生の寮生から新たに選出された11名の新委員と18名の旧委員が参加した。研修会のプログラムは以下の通り。

  - ①校長、寮管理グループ長挨拶
  - ②新委員挨拶
  - ③旧委員による活動実績報告
  - ④新委員によるグループ討議（活動スローガン、および全員リーダー制における役割決定）
  - ⑤各リーダーによる活動指針発表

2年電気科 海老澤 瑞波  
(考動アクション寮委員長)  
今回、寮委員研修会に参加し、寮生活の中で委員としてどんな役割や責任があるのかを知ることができました。委員長として、全体を常に見渡し、いろいろなことを考えながら判断していく必要があると感じました。また、意見をまとめるためには日頃からのコミュニケーションが大切で、協力し合うことで課題を解決できることを学びました。さらに、先輩方が築いてきた取り組みや雰囲気の大切さを改めて知り、それを受け継ぎながら新しい工夫を加えていくことの必要性を感じました。今後は、この研修で得た学びを活かし、みんなが思いやりを持ち、お互いに気持ちよく生活できるような寮づくりをめざして、委員長として責任を持ち、積極的に考動していくたいと思います。



睿委员研修会

### 3年生が工場実習前に研修

**3年生が工場実習前に研修  
18事業所で実習開始**

3年生は、日専校における教育プログラムの最終仕上げとして、後期より就職が予定されている事業所において約半年間の『工場実習』を実施する。

(11頁へ続く)

### 3年生が退寮 寮内の部屋替え実施

## 3年生が退寮

(10頁の続き)

施している。工場実習を前に、9月25日から30日の4日間、社会人としての心構えの習得を目的とした研修を開催した。校長訓話をはじめ、生徒支援や安全衛生に関する講話、消費生活センター様による悪徳商法に関する講演、実習中や就職後に役立つ3つのテーマを題材にしたグループ討論および発表、自炊のヒントになる食育コンテスト受賞者の発表などにより、実習や就職に向けた意識の向上を図ることができた。実家からの通勤が困難な一部の3年生を除いた寮生は、2年半を過ごした日専寮を退寮した。3年生54名は、10月2日より18事業所において工場実習を開始した。



工場実習前教育

**技能五輪全国大会(電気溶接)  
3年溶接科 塙 和樹さん出場**  
10月10日、第63回技能五輪全国大会電気溶接職種のAグループに3



大会前の壮行会

年溶接科の塙和樹が茨城県代表として出場した。競技会場は千葉市の高度ポリテクセンターで行われ、競技日の表情は緊張している様子はなく、落ち着いているように感じた。準備をしている時も、事業所選手（日専卒）と会話をしながら、程よい緊張感で過ごしている様に見えた。競技が始まるとき、さすがに緊張している様子ではあつたが、こちらが想定していたよりも落ち着いて作業出来ていた。作業時間は、普段より4分早かつたが、大きなミスはなく第1課題、第2課題、第3課題を製作し、第4課題の組立途中で午前の作業を終えた。午後からの作業でも、冷静に溶接を行い、課題の製作を終えた。終了後は、達成感のある表情を見せおり、「多少のミスもいつも通り」、「自分の実力は出せました」と話していた。10月16日に行われた耐圧試験では2 MPaでの漏れ無かつたが、

6 MPaで漏れてしまった。訓練では一度も漏れることのない箇所からであり、悔しい思いをさせてしまった。閉会式では思い通りの結果を残せず悔しがる選手や、訓練の成果を発揮し納得のいく成績を残せた選手、様々な表情の選手たちを、間近で見ることが出来、「来年は自分も名前が呼ばれるよう頑張ります」と、すでに来年の大会へ気持ちが向かっていた。

### 3年溶接科 塙 和樹



私は10月10日に行われた、第63回技能五輪全国大会「電気溶接」職種に出場しました。私は2年生になつてから技能五輪訓練と部活動を行って行つてきました。心身ともにともに楽なものではありませんでしたが、技能五輪に挑戦したことで大きく成長できたと感じています。訓練では目標達成のためにやるべきことを着実にやつてこれたと思っています。本番では初めての全国大会への出場ということで不安もありましたが、技能五輪に挑戦したことがあつたなんて」との声をいただきましたが、技能五輪に挑戦したことでも引き続き必要とする人に届く広報を続けたい。日工同窓会会員の皆さんも、お近くに小中学生がいらっしゃれば、「日立製作所の学校があるの、知つてる?」と一声かけていただけると嬉しい。



技能五輪全国大会(競技中の塙さん)

**オープンスクールを開催 多くの中学生が来校**  
7月から10月にかけて、全4回のオープンスクールが無事に終りました。今年も北は青森県、南は大分県、全国各地から見学に来ていた。オープンスクールは文字通り「学校を開いて」見学者を迎えるものだが、学校説明会も併せて実施していました。オーブンスクールは文字通り「学校を開いて」見学者を迎えるものだが、学校説明会も併せて実施していました。今大会に出場す

るに当たり、ご指導いただいた先生方や応援してくださったすべての方々に感謝申し上げます。また、これから事業所に行つても技能五輪に挑戦させていただけるので自分の中で今以上に求めて、高い目標を達成できるように努力していきたいと思います。

### エリック・シュラング先生 (英会話) ご逝去



生徒、職員

に愛され、いつも元気で笑顔が絶えなか

ったエリック・シュラング先生

生が10月8日に永眠されました。心



オープンスクール